事例No.	3098
公表年度	R6
団体の属性	指定都市
団体名	埼玉県さいたま市

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	子育て

事例内容・タイトル

AIによる保育入所選考の自動化

出典

自治体におけるAIの利用に関するワーキンググループ（第2回）③

本格導入 06

AIによる保育入所選考の自動化（埼玉県さいたま市）

導入分野：児童福祉・子育て

AIの機能：マッチング

クラウド

非公開データ

■事業概要：

- さいたま市では認可保育所の入所選考において複雑な要素が介在しており、選考にかかる時間が膨大であるという課題を抱えていた。2015年度に大手ベンダーよりAI技術を用いた保育施設利用調整の実証実験に対して協力依頼があり、さいたま市はデータの提供及び事後検証の協力を行った。2018年度に大手ベンダーがツールを製品化・リリースした後、庁内での検討を経て2019年度に本格導入することを決定。
- AIにおいては優先順位に沿って全員が可能な限り高い希望をかなえられる割り当て方を自動で判断できるマッチング技術が活用されており、人間の試行錯誤により判断している複雑なルールがモデル化されている。AIの機能は市が従来から使用していた自治体向け保育業務支援システムの一機能として搭載されている。

■効果：

- 延べ約1,500時間かけていた数千人規模の入所希望児童の選考が、AI導入により数十分程度（一次利用調整：約30分／二次利用調整：約3分）で完了することになり、業務効率化が実現している。
- 今後、保護者への結果発送の早期化等による住民サービス向上への寄与も期待される。

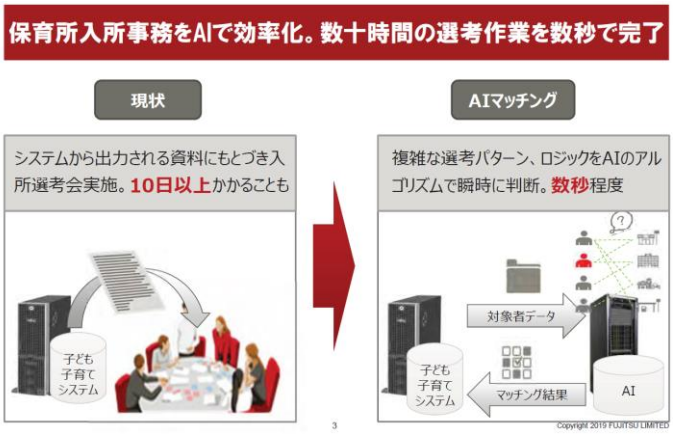
■取り扱う主なデータと共有・提供の範囲：

- AIへのインプットデータには、児童情報(名前、生年月日、保育所利用調整指数、希望保育施設等)や保育所の空き定員情報等を使用している。これらの必要情報を庁内の子ども子育て支援システムからAIシステム（オンプレのシステム）に取り込んでいる。

入所選考AIが取り扱うデータ項目

区分	データ項目の例
児童情報	名前、生年月日、保育所利用調整指数、希望保育施設、父母の市民税金額
保育所情報	施設別の空き定員情報
家族情報	同時申し込みの兄弟情報

入所選考AIの導入効果



スケジュール

- 2015年度： 大手ベンダーよりAI技術を用いた保育施設利用調整の実証実験に対して協力（市の利用調整データの提供）依頼があり、了承。
- 2017年6月：検証結果についての最終報告。事後検証の協力等実施。
- 2018年11月：大手ベンダーがツールを製品化しリリース。
- 2019年度：市における検討の結果、導入によるメリットが大きいと判断し、2019年度当初予算に計上。

事例のポイント

- AIによる保育所選考マッチングシステムは、2018年に試験運用から開始した滋賀県草津市、2019年に本格導入した東京都港区等、自治体間での横展開が進んでいる。